

SAKASO

「さかそう」

ご自由にお持ちください

特集 先生に聞いてみよう

がん治療への
チームの取り組み。



2024.2 Vol.64

お知らせ

呼吸器科の若手医師を紹介します



佐藤 幸佑
(さとう こうすけ)

岩手医科大学15年卒

診療では患者さん本人・家族の普段の生活に意識を向け診断・治療・生活状況の調整を心がけています。肺がんや気管支喘息、間質性肺疾患、肺炎など疾患自体が多様であり、同じ疾患でも捉え方や生活で重視する内容が異なることから、患者さんそれぞれに治療・生活調整が変わる点が難しさでありやりがいでもあります。今後は呼吸器内科専門医の取得を目指し、幅広い診療を目指していきたいです。



大衡 竜太
(おおひら りゅうた)

東北大学19年卒

当院で初期研修を終え、現在は内科専攻医として研修中です。進歩が著しい肺がん領域で新しい知見を取り入れながら、患者さんに最適な治療を提案できるよう日々勉強しています。初期研修では先生方の指導から診療の奥深さや難しさ、やりがいを実感し、がん診療に関わりたいと考えました。将来は腫瘍内科医として臓器横断的な治療と緩和ケアを提供することが目標です。

診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただき
ご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

- 平日 8:30～16:30 (小児科のみ8:00～)
- 土曜 8:30～11:30 (小児科のみ8:00～)

※日曜・祝祭日、年末年始(12/30～翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

- ◎ 紹介状をお持ちの方は、必ず旨をお伝えください。
- ◎ 上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 🔍 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>

表紙について

ランニングが趣味の神宮先生。チームの皆さんの応援を受けてトレーニングに励みます。薬剤師の渡邊さん(写真左)は応援うちわを自作して撮影に臨んでくれました。

- 表紙撮影／運動療法センターのびのび



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

SAKASO 坂総合病院 広報誌「さかそう」
2024年2月1日発行

公益財団法人宮城厚生協会
坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)



毎回特集内容を変え、病気や病院のあれこれを発信。今回は、「チームで取組むがん治療」について紹介します。

特集

先生に聞いてみよう

がん治療へのチームの取組み。



(写真左から) 外来がん治療認定薬剤師・渡邊大地さん、外来看護師(がん専門相談員)・富山光江さん、産婦人科・片平敦子医師、呼吸器科・神宮大輔医師、外科・盛口佳宏医師、がん化学療法認定看護師・本間裕樹さん、診療情報管理士・粕谷遼太さん。「がん診療支援委員会」のメンバーでもある神宮医師をはじめ、職種を超えて呼吸器のがん診療に携わる7人からチーム医療の現状について話を聞いた。

がん診療支援委員会とは？

外科、呼吸器科、産婦人科、緩和ケア科の医師やがん化学療法認定看護師、がん専門相談員、外来がん治療認定薬剤師、診療情報管理士など9名から成る「がん診療支援委員会」。職種を越えた横断的な関わりを元に、がん診療の向上につなげていくことをコンセプトに立ち上がった。がん治療における人材育成の視点も含まれている。

患者さんと一緒に年を重ねていく医療を

神宮：坂総合病院では呼吸器の疾患全般の診断・治療・緩和を地域に根差して行っています。特にがんに関しては診断・治療・往診・緩和ケアが一貫したチームとしてシームレスに診療に関わ

ることができる数少ない医療機関だと思います。その上でがん診療支援委員会が生まれてよ

かったことは、がん診療においてスタッフ同士が助け合い、支え合えることだと思います。irAE(免疫チェックポイント阻害薬の投与で引き起こされる副作用のこと)などについての知識を広げることでもできました。まさに職種の垣根を超えたシームレスな委員会になっていると思います。

粕谷：そもそも当院のようにひとりの患者さんを最期まで診る病院は少ないのですか？

盛口：回復期の病棟がない病院も多いし、坂総合病院と同規模の病院ではあまりないかもしれないね。

片平：集中的に緩和ケアを行う病院はあるけれど、当院のように治療と並行して緩和ケアを行う病院は少ないですね。

富山：患者さんから「坂総合病院は先生と一緒に歳を重ねてくれるからすごく安心」と言われたことで、この病院の良さに気が付かされたことがあります。私たちにとって当たり前のことで

も、患者さんの安心や信頼につながっていると感じます。

神宮：治療内容などに関しては呼吸器科内の医師でのカンファレンスで決定しています。ただ患者さんを全人的に捉えた時、医者だけで治療方針を考えることに限界があるのが事実です。でも本間君や渡邊君のような看護師さん・薬剤師さんたちと一緒に頭を悩ませることで、全人的な治療方針に近づけることができると感じます。この委員会の仲間がいるから頑張れる部分はとても大きいです。

盛口：解決できない問題を仲間と一緒に共有しながら、私たちがらしい診療をみんなで作っているということだね。

渡邊：自身、この委員会は他職種との距離がとても近いと感じました。医師も看護師も、同じ立場で考えてくれる人たちがばかり。事務として陰ながらサポートしてくれる粕谷さんも大きな存在です。ふと振り返った時に、自分がいる環境はなんて幸せなんだろうと思います。

がんにまつわる

環境づくりを目指して

盛口：実はこの委員会を立ち上げる時には「他職種が横並びになつて委員会を構築できる訳ない」なんて意見もあったんだよ。でも今では多くのスタッフに必要とされる委員会になっているでしょ？ ぜひ若い世代の人たちにはこの委員会を一步でも前に進めてほしいと思うな。

片平：きつと病院内からは熱意のある委員会だと思われているはず。そして発信力もある集団だと思うから、これからもそれぞれの専門性をぶつけることで画期的な案が生まれてくると思っています。「がんサロン」が今後立ち上がるのもそのひとつですよ？

本間：そうですね。でも富山さんと長く「がんサロンを開きたいね」と話をしているながら、看護師だけでは簡単に構築できるものではなくて……。だけどこうして多くの職種が集まって、包括的にがん診療を支援する体制があることが大きな助けになりま

した。

粕谷：「がんサロン」は患者さんや関わる人たちが自然と集まる場所を目指すようになりました。具体的にどのような場所になるのでしょうか。

本間：基本的に集まった方々主体の運営になり、最初の立ち上げを病院がサポートすることになります。その中でピアサポーター(自身の障害や病気の経験を活かし、同じ境遇の仲間をサポートする人)なども育てていくといいですね。

富山：「がんサロン」が育っていくことで、この地域になくならない場所になるといいなと思っています。

神宮：そして、この委員会の目標は、がん治療に携わるスタッフにとつて働きやすい環境を作り、ひいては当院のがん患者さんの支えになる基盤を築くことです。今はまだ過渡期だけれど、できる限り早くその目標を達成するために自分自身も成長して貢献していきたいです。

#9 運動不足解消に役立つ室内運動⑤

家の中でずっと座ったままになっていませんか？ 隙間時間にこまめに体を動かすことは、活動量がアップするだけでなく、1日の平均血糖値の減少にもつながります。

股関節痛・転倒予防のための「お尻側面の運動」

- 1 固定された椅子や机、壁などに両手を添えて支えにし、片方の脚をゆっくりと真横に上げる
- 2 ①の姿勢を2～3秒維持して、ゆっくりと脚を元に戻す。この動作を5～10回行う
- 3 反対の脚も同様に行う。各脚2～3セット実施する

〈注意点〉脚は痛みがなく、バランスに無理のない位置まで上げる。脚を上げる時は上半身を傾けないよう、体はなるべくまっすぐに保つ。つま先は外側に開かないよう、正面へ向けたままにする。きつい場合は回数やセット数を減らす。

「運動療法センターのびのび」とは…？

坂総合クリニック1号館6階にあるメディカルフィットネス。健康増進・疾病予防運動、生活習慣病の運動療法、介護予防運動などを実践する施設です。

※現在は感染症対策のため、特定の病気の重症化予防を目的として個別にご利用いただいています



栄養手帖 ■ -食養室だより-

食べ物で冷え性改善！

体温調整機能の働きが悪くなり、手足の先や体に冷えるを感じる「冷え性」。原因となる血行不良を食べ物で改善しましょう。



体を温める食べ物

ネギ、ショウガ、ニンニク など

温かい料理や飲み物でさらに効果アップ。風邪の回復にも効果があります

血液をサラサラにする食べ物

ゴボウ、ニンジン、レンコン、ヤマイモ など

血行をよくする働きを持つビタミンEや毛細血管の機能を保持するビタミンCがたっぷり！

おすすめレシピ

ショウガたっぷり豚汁

●材料(4人分)

豚もも肉(薄切り)…120g
 サイモ…4個
 ニンジン…1/2本
 ダイコン…1/8本
 ゴボウ…1/2本
 こんにゃく…1/4個
 ネギ…1本
 ショウガ…1かけ
 みそ…大さじ3
 だし汁…600ml
 サラダ油…小さじ1

●作り方

1. 豚肉は2cm幅に切る。サイモはひと口大に切る。ニンジンとダイコンはちょう切りに、ゴボウは斜め切りにして水にさらす。こんにゃくは3cmの短冊切りにし、下ゆでをする。ネギは小口切りにする。
2. 鍋にサラダ油を入れて熱し、豚肉を炒める。豚肉に火が通ったら、サイモ、ゴボウ、こんにゃく、ニンジン、ダイコンを加えて炒める。だし汁を加え、沸騰したらアクを除きながら煮る。
3. みそとすりおろしたショウガを加え、煮立つ前に火を止める。器に盛り、ネギをのせて完成。

支えるひとたち



第36回
総務課

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

求人募集の掲示を見て飛び込んだこの仕事。病院の事務に興味があったこと、広く名前の知られた病院という安心感があり応募を決意しました。現在は院内で発生する費用・収入の仕訳作業や現金出納の日の準備、立替え費用の精査、振込などの経理業務を担当。病院の収益を確定させるのが私の仕事です。

この仕事は何よりも信用第一。期日には特に気を遣い、真つ当で誠実な対応を心がけています。そんな中で職員と会話をすることや病院はたくさん職種の成り立っていると実感すること、そして自分もその一部に加わっていることにうれしさを感じます。

今後は病院の経営につながる発案もできたらいいですね。資金の流れを通じて組織運営を学び、何が適当で何が過当なのかを精査しながら病院の収益に活かせるように尽力したいです。

次号は

〈宮城民医連
研修医担当事務〉
菅原 優香



伝票の管理やパソコンへのデータ入力など、日々机に向かって行う業務が多いです。お金にまつわる仕事のため、常に緊張感が伴います。



鈴木 大之 (すずき だいし)
事務(経理担当)

酒井 桃果 (さかい ももか)

病気になる患者さんだけでなく周りの人たちも不安になるかと思えます。そうした人たちの相談にのり、安心して必要な治療を受けられるように、そしてよりよい生活が送れるように支援するのが私たちの役割です。介護保険や障害者手帳などの制度の案内から退院時の援助(退院時の療養先相談・医療介護サービスの調整など)、関係機関



の紹介・連携、受診相談まで、様々な相談に応えます。また当院は無料低額診療事業に取り組んでいるため、療養生活中の医療費や生活費など経済的な不安についても相談も受け付けています。大切にしているのは患者さんを第一に考えることです。家族などと意向が違っても患者さんの気持ちに寄り添うことを心がけています。在宅復帰は難しいと思われた患者さんの「住み慣れた家に帰りたい」という思いを叶えるため、他職種との相談を重ねて支援を行ったこともありました。自宅への退院が決まり、感謝の言葉をいただいたことは今でも忘れません。

ソーシャルワーカーという職業は、まだ広く認知されていません。だからこそ相談を待つだけでなく、こちらから病室にうかがったり地域に向いたりしながら、患者さんと直接話す機会を増やしていきたいです。

腎専門施設として地域医療に貢献を

連携医のご紹介

医療法人社団

中山クリニック

[内科・小児科・腎臓内科・人工透析科]



院長
田中 佳優 先生
(たなか かゆう)



内科・小児科・腎臓内科・人工透析科
医療法人社団 中山クリニック

〒981-0212 宮城県宮城郡松島町磯崎
字磯崎2-8
TEL 022-353-2333
URL <https://www.nakayama-cl.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:30	○	○	○	○	○	○	△
14:00 - 17:30	○	○	○	○	○	○	△

休診日/日曜、祝日
※受付時間は8:30-12:00、14:00-17:00



当院は1987年に前院長の中山大典が内科・小児科の診療所として開院。1999年には人工透析部門を併設して現在に至ります。私は昨年より院長に就任し、父とともに診療を続けているところ。父と私は腎臓内科、透析の専門医であり、内科小児科の一般診療に加え腎臓専門外来も行っています。慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、血管炎などの診療もしており、慢性腎臓病では透析導入を減らすことを目標に治療しています。透析ベッドは28床で、松島町周辺の維持透析を行っています。

患者さんは若年の方から高齢の方まで幅広く、それぞれのライフスタイルに合った生活が送れるように誠実な診療を心がけています。透析では重症合併症を伴うことも多く、坂総合病院には緊急や定期で診ていただくこともよくあります。診療内容を迅速かつ丁寧に教えてくださるので、日々の診療にフィードバックできていると感じています。

これからも腎臓内科、透析専門の施設として地域医療に貢献できるよう日々努力していきます。どうぞよろしくお願ひします。

坂総合病院から

松島町で腎臓病診療・透析治療を担っている中山クリニック。田中先生が院長になり、地域での腎臓病診療の継続性が保たれることに大きな意義を感じます。お父様の時から続く医療連携がますます強固なものになるように、当院も努力を続けていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

